

旅立つ前の70日間

～福島県での訓練生活～

朝6:15 「おはようございます。今日の朝の集いは玄関前(雨だと体育館)で行います。」



という放送と共に1日が始まります。

左の4本のポールに国旗、派遣される国の旗と、JICA旗、
隊旗を掲げます。

その後ここでラジオ体操↓

ランニング(約25分)↓



7:10～8:45 朝食と準備

8:45～11:35 50分×3時間の語学の授業(1クラス2～6人で外国人の先生の授業)



インドネシア語・マレー語・タイ語・アラビア語・中国語・ポルトガル語・クメール語・
ラオ語・モンゴル語・ベトナム語・スワヒリ語・ミャンマー語・フランス語・英語
自分の行く国で使われている言語を学びます。

11:35～13:00 昼食と昼休み

13:00～14:50 午後の語学の授業 50分×2時間

15:10～17:00 予防接種・いろいろな講座(世界の宗教・行く国の勉強・体力テストなど)

17:00～22:40 夕食・宿題・自習・発表の準備・課題など

22:40 点呼と、翌日の連絡事項など

23:00 消灯

その他、こんな行事や訓練があります。

★入所式↓・修了式(入学式や卒業式みたいなもの)



★中間テスト・最終テスト…リスニング(40分)、筆記(90分)、面接(20分)など↑

★東京の東宮御所で皇太子様にご接見・ご挨拶

★スポーツ大会↓

★野外訓練↓

★所外活動↓



9月の終わりか10月に世界各国に旅立つ172人が12班に分かれて70日間の訓練を受けます。訓練所での70日間は、月曜日から土曜日の17時まで毎日、語学の授業と講座や訓練、日によっては19時以降もミーティングや勉強会があります。語学の成績が悪かったり、遅刻や部屋の鍵閉め忘れなど生活態度が良くない場合は海外で犯罪に巻き込まれる可能性が高くなるので、協力隊として海外に行くことが延期か、取り消されます。

第1号の通信でも書きましたが、青年海外協力隊は、日本では当たり前なのが当たり前ではない国で2年間生活をします。派遣される国は治安が悪いかもしれない、水道がなくて水くみをしないとイケないかもしれない、水は不衛生かもしれない、言葉が十分に通じないかもしれない、仲間外れにされるかもしれない、病気にかかるかもしれない、犯罪に巻き込まれるかもしれない…いろいろな危険があります。これからいろいろな危険があるからこそ、ルールも内容も厳しいです。みんなそれぞれ不安もあります。だからこそ、訓練生同士、やりたいことや不安、悩みを語り合い、しんどいときに助けてもらい、支え合い、教え合い、励まし合います。この絆はきっと、2年間の頑張る原動力になると思います。

二本松訓練所に集まっている青年海外協力隊の訓練生たちは、「どんな状況でも自分に何かできることがあるならば、誰かの役に立ちたい、挑戦してみたい」という思いを持っています。家族や友だち、生徒たちや患者さん、同僚の方々など今まで関わった大切な人たちとの2年間の別れは決して平気なものではありませんが、応援してくれる人がいるからこそ、あるいは待っていてくれる人がいるからこそ、頑張ろうと思えるのです。そして、そうやって私たちが応援してくれることは、みなさんの国際協力への第一歩なのだと思います。